

項目	観点		教科書名						
		新編 新しい道徳(2・東書)	中学道徳 とびだそう未来へ(17・教出)	中学道徳 きみがいちばんひかるとき(38・光村)	中学道徳 あすを生きる(116・日文)	新版 中学生の道徳 明日への扉(224・学研)	中学生の道徳(232・あか図)	道徳中学校(233・日科)	
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	○自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深めるために、どのような配慮がされているか。	いじめ、防災、情報モラル、SDGs、多様性などの現代の課題に対応した教材や現代社会で活躍している人物を取り上げ、生徒が興味関心をもちやすい教材を通して、人間としての生き方について考えを深めることができるよう配慮されている。 どの教材にも、精選された2つの発問に加え、補助発問が設定されており、人間としての生き方について考えを深めることができるよう配慮されている。	構造化された3つの問いで、道徳的価値について段階的に深めていく教材や問題解決的学習、役割演技、リフレーミング、ケーススタディ等の体験的な学習を取り入れた教材を通して、人間としての生き方について考えを深められるよう配慮されている。多様な人物の生き方をモデルとした教材を取り入れ、人間としての生き方について考えを深めることができるよう配慮されている。	与えられた問いに答えるだけでなく、生徒自ら問いを立て、考えられるように配慮されている。よって、問題解決的な学習を実践することができる工夫がされている。 また、複雑な問題が絡み合う現代社会を生きていく生徒に必要な人権問題を、コラムを通して、1年から3年まで系統立てて学習する工夫がされている。	別冊ノートや二次元コードを活用し、生徒一人一人の学びを支える工夫がされている。また、いじめや情報モラル、多様性、SDGsなどの問題を、コラムを通して、1年から3年まで系統立てて学習する工夫がされている。また、教師用指導書には、補助発問も準備され、授業全体を見通して授業を展開することができる。教科書巻末には、保護者へのメッセージが掲載されており、「よりよく生きる」ために一緒に考えられるように配慮されている。	いのちの教育といじめ防止に重点を置いている。また、多様性を尊重する未来の担い手を育てることができるように配慮してある。 ユニット教材を用いて、今を生きる生徒たちが、現代社会におけるさまざまな問題を自分事として捉え考えられるように工夫されている。 これらに関連した教材が豊富であることから、道徳科の目標を実現できる考える。	授業のねらいを明確にした発問構成に加え自分と対話する問いを設けた教材や家庭及び地域に関するテーマに重点化を図り、人間としての生き方について考えを深められるよう工夫されている。	身近な事例や先人の気高い生き方を見つめ直す教材だけでなく、漫画やグラフ等の資料により思考重視の教材やウェルビーイングカードを活用した話し合いによって、人間としての生き方について考えを深められるよう工夫されている。	
2 内容の程度及び取扱いについて	○「考え、議論する道徳」の実現のために、どのような工夫が見られるか。	生徒が自分事として考えられるよう、実生活に即したマンガや写真中心の教材を取り入れたり、生徒同士の交流を促すための心情円盤が付属されていたりするなどの工夫がされている。問題意識をもち、自分との関わりで考えることができるよう、生徒が主体となって問いを立て、話し合う活動や、役割演技、ロールプレイを行う学習活動が設定されている。教材と関連したテーマをさらに深化・拡充させるコラムが多数掲載されている。	4コマ漫画で日常生活にありがちな場面を取り上げ、考えてみたい意欲を高める教材や、活発で深い話し合いをするためのポイントを示した教材を設定するなどの工夫が見られる。 問題意識をもち、自分との関わりで考えることができるように導入の問いで道徳的価値を意識付けたり、役割演技、ケーススタディ等の体験的な学習を設けたりするなどの工夫が見られる。	生徒自身が考えたい問いを作成し、その問いに対してみんなで考えられるような工夫や、役割演技によって考えを交流し、さらに考えを深められるように教材が工夫されている。 また、教科書冒頭において、道徳科で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて扱っている。生徒が主体的に学びに向かう工夫がされている。	問題解決的な学習のステップを示した教材や体験的な学習ができる教材が掲載されている。また、問題意識をもち自分との関わりで考えることができるように、話し合いで考えを深めていくためにシンキングツールが準備されている。また、別冊ノートを設けることにより、自分の考えを書き入れて個別最適な学びを支えるとともに、他者から学んだ内容を書き留めて、協働的な学びを支援する工夫も見られる。	教科書冒頭において、道徳科で学ぶこと、考えることについて扱っており、生徒が主体的に学びを深めるための工夫がされている。 また、考えを深める4つのステップが掲載されている。教師がステップにそって授業をつくることにより、生徒たちの問題意識を尊重し、生徒たちが主体的に考え、他者と活発に意見を交換できるように内部にさまざまな工夫と仕掛けがされている。	問題意識をもち自分との関わりで考えることができるように、家庭及び地域をテーマとした教材を取り入れて問題解決的な学習を行うコーナーを設けたり、授業で考えるポイントを明確にした発問構成を示したりするなどの工夫が見られる。	問題意識をもち自分との関わりで考えることができるように、課題を焦点化しやすくする漫画教材や、自分自身がよりよくあるための視点で話し合いができるよう、ウェルビーイングカードを活用するなどの工夫が見られる。	
3 内容の配列・分量	○発達段階に応じた教材の配列や分量については、どのような特色があるか。	重点項目である「いじめ防止」「生命尊重」は、複数時間かけて、多面的・多角的に考えることができるよう、3つの教材でユニットが組まれている。 学年ごとの発達段階を考慮し、内容に応じた適切な時期に学習することができるよう配慮されている。重点項目である「いじめ防止」「生命尊重」は、3年間を通して、同じ時期に、ユニットが組まれている。	他教科や学校行事等との連携を考慮して、横断的に学習できるように配列されている。「生命の尊さ」「いじめ問題」「SDGs」について、前学年でユニットとして配置している点に特色がある。また「生命の尊さ」「いじめ問題」など、重点項目については複数の教材を掲載している。学年間の系統性を考え、同じ人物が登場する3部作を掲載し、生徒の成長に合わせ、3年間を見通した教材内容となっている。	小学校の道徳で学ぶ定番教材を付録として掲載してあることで、中学校で学び直しが可能となり、自分の考えの成長を自覚できる工夫がされている。 また、幾つかの教材が関わりながらテーマに向かって考えられるようにユニットが構成されており、よりよく生きることについて、さまざまな観点でアプローチできるように配列が工夫されている。	発達段階や学校行事などを踏まえ、学習できるように各教材が配列されている。「多様性」や「SDGs」の理念など、現代的な課題に重点を置きながら、幅広いテーマを取り扱っている。また、「いじめ問題」をユニット化し、配列も長期休業明けの時期に配慮している。学年があがるにつれて「いじめ問題」から「よりよい社会」へユニットが移行しており、3年間を見通して系統的に取り組めることができる。	一つのテーマを多面的・多角的に学ぶことができるようにユニットを設けてあり、内容項目が異なる複数の教材で連続して学ぶことができるように配慮してある。	教育活動や学校行事との関連を考慮して学習できるように配列されている。「いじめ問題」「情報モラル」「キャリア」にかかわる内容について、全学年でユニットとして配置している点に特色がある。	内容項目ごとにユニット化し、各学校の年間指導計画に対応できるように配列されている。話し合う活動を確保するため、1教材4ページを基準としている点に特色がある。	
4 表記・体裁・資料	○用語や写真、動画・音声やアニメーション等のコンテンツなどの使用上の便宜については、どのような工夫が見られるか。	UDフォント、カラーUDが使用されている。体裁では、発問等は、文節で改行して、読みやすくしている。全ての教材に二次元コードが設けられ、関連動画、朗読音声、4コマ漫画、情報活用サイト等を活用できるよう工夫されている。また、関連する他教科の教科書を読み取ることができ、教科横断的指導へ配慮がされている。掲載されている挿絵や写真には、制服のスラックスをはいた女子や、多様な国籍の生徒が描かれ、多様性にも配慮されている。	教材や挿絵は、性別による偏りや外国にルーツをもつ生徒に配慮されている。全ての教材に二次元コードを設け、教材の内容の理解を助ける解説教材や動画、学びを深めたり広げたりできる外部リンク等にアクセスできるなどの工夫が見られる。 B5判で携帯しやすい。生徒の発達段階に即した内容と文章量で構成されていて、本文にはユニバーサルデザインフォントが使用され、読みやすさに配慮されている。	教科書の二次元コードを活用することにより、教材で登場する人物へのインタビューや補足資料、朗読音声などさまざまなコンテンツにアクセスでき、教材での学びを深める工夫がされている。 また、学習上支援が必要な生徒に理解しやすいものとなるよう、読みやすさ、わかりやすさの配慮に加え、ユニバーサルデザインの観点からも十分に配慮がなされている。	B5判で携帯しやすい。教材や挿絵は、ジェンダーやSOGIESCを含めた多様性に配慮されている。学習を記録する別冊ノートを活用したり、全ての教材で二次元コードから動画、参考資料、心情メーター、思考ツールなどを参照できたりするなど工夫が見られる。環境に優しい植物油インキと再生紙が使用されている。カラーバリエーションを含めたユニバーサルデザインなど表現方法にも工夫が見られる。	教科書の二次元コードを活用することにより、動画や写真、音声、ワークシートなどを用いることができ、多面的・多角的で深い学びを可能とする工夫がされている。 全ての生徒が楽しく、意欲的に学びを進めることができるように、読みやすさ、見やすさ、扱いやすさを追求し、環境や安全に配慮したユニバーサルデザインとなっている。	挿絵にスラックスの女子生徒や性別を規定しない生徒の姿を描くなど多様性に配慮されている。巻末に学習を振り返る「学習の記録」を綴じ込んだり、二次元コードから動画やwebリンクを参照できるよう工夫されている。ユニバーサルデザインフォトを採用したり、カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の視点を取り入れている。	挿絵にスラックスの女子生徒や車椅子を使用する生徒の姿が絵が描かれ、多様性に配慮されている。巻末にウェルビーイングカードを付けたり、二次元コードから補助資料や動画資料を参照できるよう工夫されている。 ユニバーサルデザインの観点に立ち、色合いやレイアウト等に配慮している。	